

## 今後取り上げて欲しいテーマ

### ◆医療介護連携について

地域包括ケアに向けた医療連携が進んでいる地区の情報

看取り、住まいと介護と医療の一体的提供など

医療・介護連携・実際困る部分は、急性期病院から退院するときだと思うので、その部分の解消に対する対応や施策

### ◆総合事業について

総合事業の実例

地域包括ケアシステムについて効果的な構築方法

総合事業の推進・地域包括ケアシステムの構築・推進について

地域住民が何を求めているか、目線を住民にしたデータ等。地域ごとに差があると思います。

2025～2035年に向けて問題を認識しました。地域において民官一体となつての対応の必要性が必要だと思いました。

地域を活性化するための住民意識の変革につながる活動

行政主導ではなく、地域支援事業を展開している事例和光モデルではなく、もっとボトムアップで行っている地域にしてほしい

地域内（昔の近所づきあい）の連携による孤独を防ぐ取り組みの具体例と取り組み方など

総合事業において一般介護予防事業の先進的事例・成功事例の紹介（地域支援事業に係るボランティア団体・移送団体等含む）

自治体向けの総合事業における多様なサービスの進め方のセミナー（小規模な自治体ほど、とりあえず現行サービスの移行でとしている自治体が多いと思いますが、本来の総合事業のあり方ではありません。住民をどう動かすかのノウハウが足りないからだと思います。）

幸手などの好事例の取り組みを行っている人の講演・住民が主体となった取り組みについて

買物支援について

生活支援について

住民が主体となった取り組み

### ◆認知症対策について

地域包括ケアタウンの構想（認知症タウン）

認知症予防を掘り下げてほしい

認知症・精神疾患（特にうつ病）のある高齢者への関わり方対応など

認知症がありながら、在宅で一人暮らしをしている方が増えています。近年認知症の方が関わる事故で、家族の責任が問われるケースもでてきております。地域包括ケアをすすめていく中で、こういった事例があしきせとなつておられます。認知症の方が地域で生活するための地域の関わり行政の対策、家族の責任など実際の事例を伺いたいです

認知症対策含む運動

フレイル対策・認知症対策のためどのような教室が有効か。教室が終わった後も住民が続けられるような内容について学びたい。地域包括ケアシステムを住民の皆様にご周知していくか、（住民が主役（担い手の一つ）なのに誰も知りません。）もっと国をあげてPRして欲しいです

認知症が疑われる場合の最初にかかる医師は何科ですか

認知症予防に関する事

宅幼老所等の社会資源の活用／医療・介護の連携のうまくいってる事例／認知症の方への対応等困難事例に関する取り組み

一般住民に対する認知症の理解について

どのようにすれば本人を病院に連れ出せるか、方法を教えて欲しい（認知症）

認知症対策についての、地域のとりくみ

### ◆医療等について

医療を必要としている高齢者の現状と課題、今後の対策

フレイル対策・栄養ケアのプランニング（要介護高齢者は栄養の入れ方が難しいため）・水分管理のプランニング・運動ケアの実際

高齢者の食事等
健康に関する件で特に食事に関すること
栄養と口腔について
楽しい食生活など
食育・子育てについて
口腔機能を鑑定項目に含んだRCTを多く進めて欲しい
正しい健康・医療情報
在宅医療のすすめ方・オーラルフレイル
オーラルフレイルの対策
実際に運動を取り入れたセミナー
老年に至るまでに防げること栄養面・運動面・精神面トータルを含むもの
医療の充実化について組織化の様子等
放射線で受ける健康問題
MC I 時の具体的な対応、エビデンス
この16年間の実績で要介護が治す方法が確立されているはず。それを発表してください。もし事例がないならケアマネへ声かけしてください。「介護保険治してなんぼ」と思っていました。今回のフレイルなら治す予防するが可能と思います。今回の内容を各地域で開催して頂きたい。介護保険を受けると治らないと考えている、老人相手にくろうしています。治す視点に変更ありがとうございます
<b>◆薬局について</b>
地域包括ケアシステムにおける薬局のかかわり方
かかりつけ薬剤師の薬局。健康サポート薬局が地域包括ケアにおいて役立てる具体的内容のセミナー
<b>◆その他</b>
対象者ごとの情報をどのように連携していくかについて。対象者に介入した際の結果評価の方法（一般的には可能な項目）
推進のための問題点とその解決策
この先高齢者になる若い人に対する啓もうが必要だと思うので、何か魅力的な講座を考えて頂きたいと思います
本日のテーマの続き
終活の過ごし方。一人暮らしや、老夫婦だけの生活の方たちが身寄りがなく、終活はどうすごしたら良いか不安である
在宅介護への援助
管内の大都市、地方都市、過疎地域毎に開催し、それぞれの課題別対策・提案を中心とした研修を検討してほしい